

2026 年度 第 1 回地域協議会・地域医療支援委員会 議事録

【日 時】 令和 8 年 6 月 3 日（水）13：30～14：30

【場 所】 四日市羽津医療センター 4F 第一会議室

【出席者】 鳥井孝宏（当会委員長、四日市医師会常任理事）、柴田英治（当会副委員長、四日市看護医療大学学長）、高司智史（四日市市保健所所長：WEB 参加）、水野義隆（四日市市北消防署署長）、徳山直子（三重県乳腺患者友の会『すずらの会』代表）以下 当院職員

山本隆行（院長）、長谷川浩司（副院長）、岩永孝雄（副院長）、中島滋人（統括診療部長）、石井雅昭（附属介護老人保健施設長代理）、後藤信二（事務部長）、清武あゆみ（看護部長）、伊東亜矢子（附属訪問看護ステーション看護師長）、東郷直美（地域連携室看護師長）、下山貴寛（外科医師）、櫻井亜沙子（褥瘡管理者皮膚排泄ケア特定認定看護師）、青木一蔵（総務企画課長）、渡邊良樹（健康管理センター管理課長）、大橋紀彦（附属介護老人保健施設管理係長）、黒田真理子（当会事務局・総務企画課一般職員）

【欠席者】 山路和良（四日市市自治会連合会会長）、内田寛（羽津地区連合自治会会長）

○開会挨拶＜山本院長＞

本日は、お忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。皆さんご存じのように診療報酬改定が 6 月に行われました。国は救急医療や在宅医療に注力している病院に対し診療報酬を手厚くする方針ですので、方針に従わなければサポートを受けることが難しく、厳しい状況となります。病院として、在宅医療又は救急医療を行うのか方向性をしっかり決め、医療を行っていくべきとのメッセージだと感じています。

健診バスのクラウドファンディングについてですが、皆様のおかげで大成功を収め、新しいバスを購入することが出来ました。皆様からのお気持ちをいただき、そのお気持ちに応えるべく、厳しい医療事情の中ではありますが頑張っていきたいと思います。

これからも地域住民の方々の健康を守ることが出来るよう、適切な医療を行ってまいります。今後ともご理解とご支援のほどよろしくお願いいたします。

1. 四日市羽津医療センターからの報告事項

・病院の現況報告について

＜岩永副院長＞

【資料参照】

令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月病院現況報告

初診患者数と紹介患者数

初診患者 令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月 9,148 人 前年度比▲485 人

紹介患者 令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月 5,568 件 前年度比+113 件

初診患者数は令和 6 年度から令和 7 年度にかけて減少傾向で、紹介患者数は、微増です。

紹介患者が増加しているのは「患者さんが当院を選んでいただける病院」と捉え、良い傾向だと考えます。職員一同で更に取り組んでいかなければならない課題となります。

1 日平均外来患者数

1 日平均外来患者数 令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月 443 人 前年度比▲14 人

令和 7 年度も前年度を下回っています。これは外来患者の年齢構成比が一因として考えられます。外来患者の年齢構成は 65 歳未満と 65 歳以上の患者数は、ほぼ半々の比率であり、若い世代の減少の影響を受けたものと考えます。

救急患者受入れ強化の取組み状況

受入れ台数 令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月 1,877 台 前年度比+30 件

昨年度に比べ救急車受入れ台数は若干増加しており、輪番日応需率は 92%と高い状況です。

入院患者数

新規入院患者数（月平均）令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月 404 人 前年度比+12 人

1 日平均入院患者数 令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月 161 人 前年度比+3.9 人

令和 7 年度の新規入院患者の月平均は 404 人で目標値 400 人は達成できました。

1 日平均入院患者数は、今年度も目標値を 160 人として取り組んできました。

令和 7 年度の平均としては 161 人と、こちらも目標値を達成することができました。

これは先生方の受入強化の取組みが好影響を及ぼしている為と考えています。

・健康管理センター事業報告（令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月）

院内健診月別件数（生活習慣病予防・人間ドック）

院内健診実施件数 令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月 27,043 件 前年度比▲225 件

院内健診については、各月により増減数はありましたが、昨年度より 200 名程減少という結果になりました。理由は、他の健診事業所の参入による競争によるものと考えます。

院外健診月別件数（生活習慣病予防・人間ドック）

院外健診実施件数 令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月 25,402 件 前年度比▲688 件

院外健診については、700 名弱減少しています。理由としては、院内健診と同様の理由です。

院内特定保健指導実施件数

健診受診者数が減少したことにより、前年度比▲41 件となりました。

院外特定保健指導実施件数

4 月～3 月の指導件数は前年度より増加し、前年度比+213 件となっております。

遠方においても W E B で保健指導を実施したことにより件数が伸びていると考えます。

・附属介護老人保健施設利用状況報告（令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月）

入所者平均前年度比 令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月 87.4 人 前年度比+1.7 人

短期利用者 令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月 1.0 人 前年度比▲0.9 人

入所率 令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月 88.4% 前年度比+0.8%

目標としております 90%を下回っている状況です。

在宅復帰率 令和7年4月～令和8年3月 57.5%

在宅復帰率に関しましては、令和6年度は50%を常に超えている状況でしたが、令和7年度は12月に50%を切ってしまった事があります。もう少し上げたいと考えています。

通所利用者平均 令和7年4月～令和8年3月 17.0人 前年度比+2.4人

目標を20人と設定しておりますが、少し足りなかった令和6年度に比べると徐々に増加しております。

・附属訪問看護ステーション利用状況報告（令和7年4月～令和8年3月）

総利用者数 令和7年4月～令和8年3月 984人 前年度比+89人

昨年度と比較し年間を通し増加しております。

延べ訪問件数 令和7年4月～令和8年3月 6,549件 前年度比+465件

利用者数の増加に伴い、年間を通し前年度より延べ訪問回数も増加しました。600人を超える月もありました。

・看護の日のイベント・職場体験の報告について

＜豊場副看護部長＞

5月15日に看護の日のイベントを行っています。近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日が5月12日ということで、この週を看護週間とされており、日本各地でこのようなイベントが行われております。当院では5月15日の午前中2時間を使いイベントを行いました。歯科衛生士と共同でお口のケア相談、血圧・体重・体脂肪測定、「私たちの看護写真展示」という内容でした。

お口のケア相談では、日頃のお悩みにお答えすることが出来たと思います。

中学生の職場体験は5月20日～22日の3日間、中学校2年生の2名をお迎えして行っております。病院で働こうという意欲や態度、基本的な言葉遣い、そして自分が役立つ存在であることを知るといことを目的として行っています。看護師やその他薬剤師など多職種と共に体験をしております。例えば病棟では、高齢者の患者さんと一緒にレクリエーションとして介護福祉士や看護師と共に坊主めくりなどをしました。レクリエーションを通して、患者さんもとてものにこやかな笑顔になられ、中学生の方たちも晴れやかな顔をされておりました。その他、リハビリでは車椅子を押す体験も、緊張しながらも行っており、体験を終えた中学生の方々は晴れやかな様子でお帰りになりました。

・論文受賞報告

「活動期潰瘍性大腸炎に対するカロテグラストメチルの有効性及び安定性」＜下山医師＞

論文の受賞内容について説明あり。

・論文受賞報告

「クローン病により発症した腸管皮膚瘻の管理に難渋した2事例の報告」〈櫻井副看護師長〉
論文の受賞内容について説明あり。

2. その他

なし

3. 意見交換

(委員長)

循環器内科の今後についてお伺いしたいです。

(長谷川副院長)

循環器内科の山中先生が、7月から正規職員ではなく非常勤で勤務予定となり、火曜日・木曜日の週2回の勤務となります。金曜日の午前中には鈴鹿回生病院から角田先生、水曜日の午前には県立総合医療センターから増田先生に外来をお願いしております。

火曜日から金曜日までは、午前に関しては循環器の疾患を受けさせていただきたいと考えております。月曜日については交渉中ですが現状は厳しい状況です。

来年度には正規職員を1名採用となるかもしれませんが、早くても4月という事になり、しばらくの間ご迷惑をおかけします。また救急につきましては、当院ではお受けできない疾患や院内発生の循環器科の疾患で急変ということもありますので、県立総合医療センターや市立四日市病院の方で受けていただけるよう内諾はいただいております。

診察が可能な疾患などは、当院でお受けいたします。7月から正規職員が不在となりますので、ご承知おきいただけますと有難いです。よろしくお願いいたします。

(患者代表)

論文を世界へ発信されるなど、素晴らしい取り組みをされていると思います。世界へ発信し、とても役に立っているこのような活動を、広告活動などでPR出来たらと思います。広報を担当してみえる方と一緒に、何か考える事が出来たら嬉しく思います。

4. 閉会挨拶〈長谷川副院長〉

本日はご多忙の中、ご参加いただきまして誠にありがとうございます。新年度となり、診療報酬の改正などもあります。皆様のお役に立てるよう職員一丸となって努めてまいります。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

次回開催は改めて日程調整を行います。